

オンライン観察会の機材と配信方法を最適化したいッ！

長島聖大 (伊丹市昆虫館)

はじめに

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、昆虫館や博物館では対面での活動に制限がかかる事態となってしまった。この問題を解決するため、演者はYouTube や Zoom 等の配信サービスを利用したオンライン観察会の実施を試みた。オンライン観察会に適した実施方法や、費用対効果の高い機材の選定・高品質の映像や音声の配信等について、一事例を挙げて紹介する。

オンライン観察会「オオゴマダラの羽化時間調整バトル」の機材と配信方法

「オオゴマダラ羽化時間調整バトル(羽化バトル)」は石川県ふれあい昆虫館(以下 石川)と伊丹市昆虫館(以下 伊丹)が協力・連携体制を組んで実施したオンライン観察会である。オオゴマダラ(タテハチョウ科)の蛹を一定のルールのもと指定時間内に羽化させ、その数を競いながら解説を行う形式の観察会を、動画共有サイトのYouTube で生配信したものである(羽化バトルの詳細についてはウェブサイト参照)。

羽化バトルでは、石川と伊丹の両遠隔地で撮影した映像を1画面に編集しつつ生配信する必要があった。石川はCanon製のデジタル一眼レフカメラで撮影した動画をZoomの画面共有機能で伊丹へ送る。伊丹のPC上ではOBS Studioを使って映像をリアルタイムで編集しつつ、YouTubeへライブ配信として出力した(図1)。

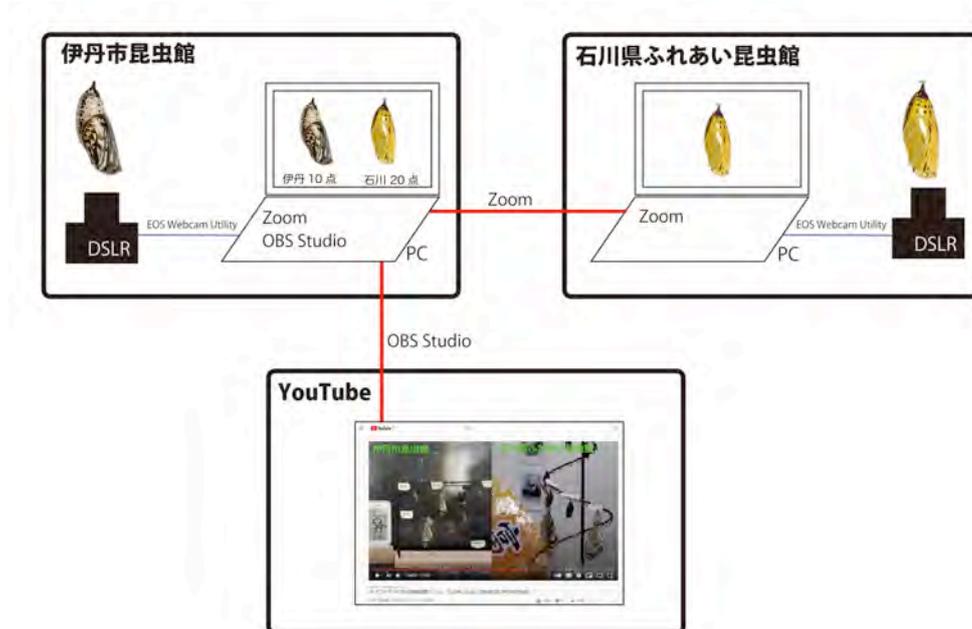


図1 オオゴマダラ羽化時間調整バトルの配信方法概略図

参考資料

「オオゴマダラ羽化時間調整バトル(羽化バトル)」のウェブページ

<https://www.itakon.com/news/ukavs>

第16回 共生のひろばにおける本稿の口頭発表スライドPDF

http://flatbugs.org/reprints/PPT2021_kyoseionline.pdf